

withコロナ時代の

～家族の「安心・安全」を守り抜く!～

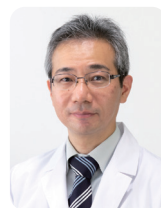
「手洗い・手指消毒」

新型コロナウイルス感染症

「感染症対策」と『COVID-19』

『新型コロナウイルス感染症(COVID-19)』パンデミックは、妊婦さん、子育て家族の生活を一変させました。流行4年目が近づく中、今後どんな対策が必要になるのか。感染症対策のエキスパート サラヤ株式会社バイオケミカル研究所 平田善彦所長に聞きました。

(インタビューは2022年11月8日)



お話を伺ったのは、

サラヤ株式会社

取締役 商品開発本部 本部長 兼
バイオケミカル研究所 所長

工学博士 平田 善彦氏
HIRATA YOSHIHIKO

【プロフィール】

大阪大学工学部醸造工学専攻卒。大阪大学大学院工学研究科応用生物工学専攻細胞生理学講座修士課程修了。1997年サラヤ株式会社に入社し、バイオケミカル研究所に配属されて以来、研究一筋。2013年より所長として130人もの研究・開発チームを率いる。酵母が発酵により生み出す天然洗浄成分「ソホロ」の生みの親で、同社の「ハッピーエレファント」シリーズで実用化されている他、大阪大学医学部とともに「ソホロ」を使用した細胞保存液(SOFORO Cryo®)等の最先端再生医療の共同研究を行っている。1970年大阪生まれの大阪育ち。

Q2.

免疫力の弱い妊婦さんやワクチンが接種できない6か月未満の乳幼児を持つ子育て家族は、
「withコロナ時代」にどう対応すればいいでしょうか？

変異を繰り返す新型コロナウイルスに比べ、
「RSウイルス」や「水痘」など赤ちゃん・子どもの健康を脅かす可能性がある感染症は「COVID-19」以外にも多数存在しています。感染症を「正しく知って、正しく恐れること」も大切です。

基本的な感染対策は、「手洗い・手指消毒」「マスクの適切な使用」「ワクチン接種」など特別なものはなく、できること、当たり前のことを重ねてやることで何より大事です。ウイルスがたどってきたとしても、日常的な感染対策がシンプルで効果的に感染リスクを下げてくれます。

過度のストレス、生活リズムの変化、偏った食事、睡眠不足などは、免疫力を下げてしまっています。免疫をアップさせることも重要ですが、まずは、バランスの取れた食事、適度な運動、良質な睡眠、リラクゼーションなど、ゆとりとできることから取り組まれることをお勧めします。

A. 基本的な感染対策は、もちろん、免疫力を下げない生活習慣も大切です。バランスの取れた食事、適度な運動、良質な睡眠などを心がけましょう。

Q1.

日本国内の1日あたりの新規陽性者が20万人に迫っています。

「第8波」は22年10月末から始まったと言っています。北海道では11月末に1日当たりの感染者数が第7波を超えています。東北の多くの県もその傾向です。一方で、東京や大阪では、12月21日現在、第8波の感染者は第7波ピークの半数ほどです。第8波は感染者数の増加が緩やかで、地域格差のあることが特徴のひとつです。ただ、12月末の寒波のせいで全国的に感染者が増加し第7波のピークに迫る勢いを見せています。10月11日には2年余り続いた「COVID-19」の水際対策が緩和され、海外から感染源となるウイルスが持ち込まれることは避けられないので、この冬特に懸念されているのは「季節性インフルエンザ」との同時流行です。先行する南半球のオーストラリアでは、夏にインフルエンザが大流行。過去2年間国内での流行がなかったために、ウイルスに対する抗体保有率(集団免疫)が低下しています。大きな形も症状も似ている2つの専門家が危機感を持っているのです。

「第8波」は22年10月末から始まったと言っています。北海道では11月末に1日当たりの感染者数が第7波を超えています。東北の多くの県もその傾向です。一方で、東京や大阪では、12月21日現在、第8波の感染者は第7波ピークの半数ほどです。第8波は感染者数の増加が緩やかで、地域格差のあることが特徴のひとつです。ただ、12月末の寒波のせいで全国的に感染者が増加し第7波のピークに迫る勢いを見せています。10月11日には2年余り続いた「COVID-19」の水際対策が緩和され、海外から感染源となるウイルスが持ち込まれることは避けられないので、この冬特に懸念されているのは「季節性インフルエンザ」との同時流行です。先行する南半球のオーストラリアでは、夏にインフルエンザが大流行。過去2年間国内での流行がなかったために、ウイルスに対する抗体保有率(集団免疫)が低下しています。大きな形も症状も似ている2つの専門家が危機感を持っているのです。

Q4.

「武漢株」から「オミクロン株」など変異を重ねる新型コロナにも「アルコール手指消毒」は効きますか？

新型コロナウイルスは、遺伝情報を持つ「本鎖RNAウイルス」で、粒子の外側に「エンベロープ」という脂質性の膜があります。変異を繰り返してこのウイルス自体の構造は変わりません。エンベロープのあるウイルスは、アルコール消毒剤からダメージを受けやすいのが特徴です。アルコール手指消毒剤はエタノールが主成分で、ウイルスの膜を破壊することで感染力を低下(不活化)させます。その殺菌効果は濃度77vol%で最大となることから、日本薬局方(医薬品の規格基準書)においては有効濃度が76.9-81.4 vol%とされています。

サラヤでは医療や介護現場等で安心安全に使うて頂くために、エビデンスに基づいた商品を開発してきました。新型コロナウイルスについても、本物のウイルスを使って大阪大学微生物病研究所で弊社の研究員(サラヤ微生物研究センター)が試験を行い、「表1」のように19年の「武漢株」から昨今の「オミクロン株」まで当社製品の有効性を確認しています。これまでの評価試験サンプルは100を超え、評価回数はその10倍に迫ります。調査する中で、再現性良く、有効性が確保できている企業は、弊社しか出てきません。エビデンスベースで、顧客に安心を届けられるよう、努めます。

新型コロナウイルスは、遺伝情報を持つ「本鎖RNAウイルス」で、粒子の外側に「エンベロープ」という脂質性の膜があります。変異を繰り返してこのウイルス自体の構造は変わりません。エンベロープのあるウイルスは、アルコール消毒剤からダメージを受けやすいのが特徴です。アルコール手指消毒剤はエタノールが主成分で、ウイルスの膜を破壊することで感染力を低下(不活化)させます。その殺菌効果は濃度77vol%で最大となることから、日本薬局方(医薬品の規格基準書)においては有効濃度が76.9-81.4 vol%とされています。

A. 変異株であっても「エンベロープウイルス」には、高濃度アルコールが有効です。

Q3.

感染対策において「子育て家族」が特に気をつけることは？

「うがい」も効果的です。うがいをする事で乾燥から守り、のど本来が持つ防御機能を高め、さらうがいがい薬を使えば殺菌効果によって口腔内やのどを清潔に保てます。「オオオウがい」でなくても口をゆすぐ「ブクブクうがい」でも有効です。サラヤでは「コロナ」による宿泊療養者の方に協力頂き、「うがい薬を使った臨床研究」を実施。その有効性を現在確認中です。その上で、23年春までにwithコロナ時代の新しい「うがいエチケット」を発信する予定にしています。

ウイルスは手指などを介して鼻や口、目の粘膜から体内に侵入し増殖します。ですから手洗いや手指消毒により手を衛生的に保つことが感染対策で重要なことです。赤ちゃんが新型コロナウイルスに感染するケースは親や兄弟からの家庭内感染が大半で、ウイルスや細菌を家の中に持ち込まないことが大切です。帰宅後すぐに玄関で手指消毒をすることを習慣づけましょう。

A. 家庭内感染を防ぐために「手洗い・手指消毒」で、室内に細菌・ウイルスを持ち込まないことです。

Q5.

「COVID-19パンデミック」は、2023年は「収束」に向かいますか？

今後インフルエンザのような季節性のウイルスになる可能性もありますが、現時点では、「収束」は見通していません。公衆衛生の観点で考えれば、少なくとも5年ほどはかかると思われていたワクチン(mRNAワクチン)が短期間で実用化されたことは、人類の感染症対策において大きな前進です。「感染リスク」も「重症化リスク」も圧倒的に下がって来ます。

一方で人間が地球環境の恵みと暮らし限り、同時にグローバル化で国境も薄まれば、当然、新たな感染症の「アウトブレイク」が起こるリスクは高まります。だからこそ「COVID-19」の経験から学んだ「手洗い・手指消毒」といった日常的な感染対策をアフターコロナにおいても習慣として徹底していくことが重要です。洗心心地のよいハンドソープ、手荒れしないアルコール、着け心地のよいマスクなど、弊社も微力ながら、ユーザーが進められ、皆さんと共にこの難局を乗り越えられよう努力を続けます。

A. 「収束」はまだ見通せません。新たな感染症に備えるためにも、日常の感染対策を継続することが大切です。

サラヤ商品による高濃度アルコールの有効性

表1

- 武漢株(2019オリジン) ○
- アルファ株 ○
- ベータ株 ○
- ガンマ株 ○
- デルタ株 ○
- オミクロン株(BA.1) ○

EN14476に準拠した評価
(試験条件: アルコール手指消毒剤、作用時間: 15秒間、清潔条件)

サラヤ微生物研究所@大阪大学微生物病研究所 有効性評価試験(2022年12月31日までの試験結果をまとめた。)

編集部注「EN14476」(欧州規格)とは、手指消毒剤のウイルス不活化効果を評価するための国際的な標準試験法で、欧州標準化委員会(CEN)により、詳細な試験条件が定められている。サラヤの衛生関連用品、家庭用・業務用洗浄剤、各種除菌成分等の有効性評価試験が実施されている。

常備したい、SARAYAの感染対策アイテム

※2022年2月厚生労働省の通達により「特定ウイルスに対する有効性の告知」が可能に。外部機関で評価試験を行い、エビデンスを取得した「ハンドラボ」にわかりやすい商品POPが付けられている。



■ハンドラボ 手指消毒スプレーVH ■うがい薬300 お口のWケア ■肌ソフトマスク

SARAYAとは? 1952年創業。戦後間もない日本で、赤痢予防のための日本初の実用石けん液と専用容器を商品化したことが始まり。医薬品メーカーとして約半世紀前から「アルコール手指消毒剤」を開発し、日本はもとより世界の医療・衛生環境を守ってきた。手指消毒用アルコールは医療機関向けに国内シェアトップを誇る。